

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月12日

計画の名称	伊勢原市安全で災害に強いまちの実現（防災・安全）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	伊勢原市											
計画の目標	下水道施設の老朽化に起因する事故の未然防止やライフサイクルコストの最小化を図るため、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新を推進する。 南関東地震による地震動（最大震度7クラス）が発生した場合でも、災害拠点病院や避難所などからの下水道施設の流下機能、処理機能を維持する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,291	A	2,291	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)
1	管渠のストックマネジメント計画に基づく改築実施率を46%(R3)から100%(R7)に増加させる。 管渠のストックマネジメント計画に基づく改築実施率 計画に基づき改築・更新した延長(m) / 計画に位置付けた改築・更新する延長(m) (計画全体 3,604m)	46%	84%	100%
2	管渠のストックマネジメント計画に基づく調査・点検実施率を7%(R3)から27%(R7)に増加させる。 管渠のストックマネジメント計画に基づく調査・点検実施率 計画に基づき調査・点検した延長(m) / 計画に位置付けた調査・点検する延長(m) (計画全体 170,051m)	7%	19%	27%
3	処理場・ポンプ場のストックマネジメント計画に基づく改築実施率を30%(R3)から100%(R7)に増加させる。 処理場・ポンプ場のストックマネジメント計画に基づく改築実施率 計画に基づき改築・更新した施設数(箇所) / 計画に位置付けた改築・更新する施設数(箇所) (計画全体 10箇所)	30%	100%	100%
4	処理場・ポンプ場及び管渠の次期ストックマネジメント計画策定率を0%(R3)から100%(R7)に増加させる。 処理場・ポンプ場及び管渠の次期ストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画の策定	0%	100%	100%
5	処理場・ポンプ場の総合地震対策計画に基づく耐震化率を47%(R3)から74%(R7)に増加させる。 処理場・ポンプ場の総合地震対策計画に基づく耐震化率 耐震化済の施設数(箇所) / 耐震化する必要がある施設数(箇所) (計画全体 19箇所)	47%	53%	74%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠(汚水)	改築	管渠(改築・更新・点検・調査)	ストックマネジメント計画の改築(汚水管 250mmほかL=3,700m)、点検・調査	伊勢原市						366		策定済
	A07-002	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	ポンプ場	改築	ポンプ場(改築・更新)	ストックマネジメント計画の改築(ゲート設備、遠方監視装置)	伊勢原市						250		策定済
	A07-003	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	終末処理場	改築	伊勢原終末処理場(改築・更新)	ストックマネジメント計画の改築(汚泥処理設備、無停電電源装置、自家発電設備、最終沈殿池設備)	伊勢原市						1,000		策定済
	A07-004	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	-	改築	ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画策定(処理場、ポンプ場、管渠)	伊勢原市						80		-
	A07-005	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	ポンプ場	改築	ポンプ場(地震対策)	ポンプ場の耐震化	伊勢原市						180		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-006	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	終末処 理場	改築	伊勢原終末処理場(地震 対策)	終末処理場の耐震化	伊勢原市						415		策定済
											小計						2,291		
											合計						2,291		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 伊勢原市安全で災害に強いまちの実現（防災・安全）

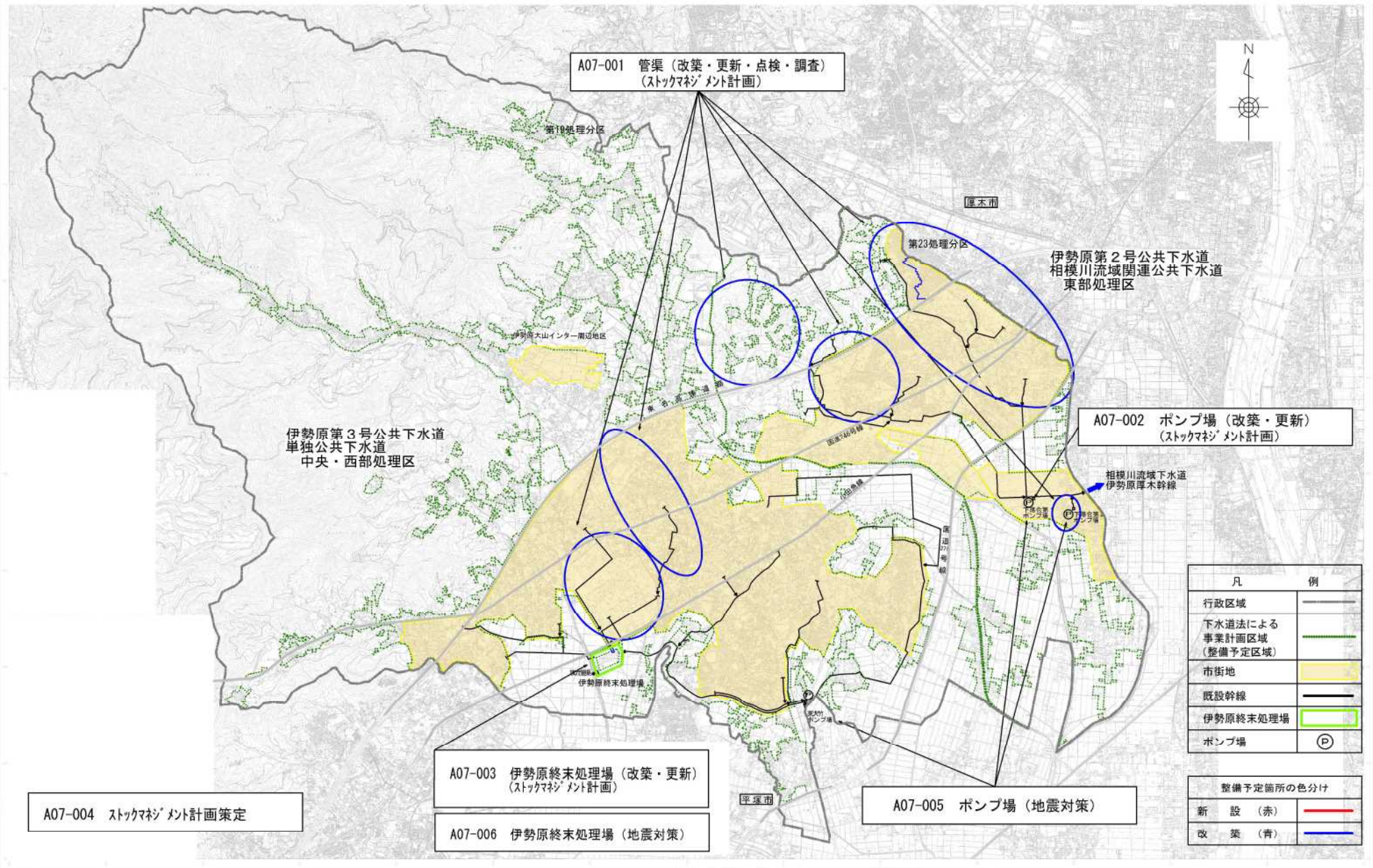
事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

(参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称 伊勢原市安全で災害に強いまちの実現 (防災・安全)

計画の期間 令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)

交付対象 神奈川県伊勢原市



A07-001 管渠 (改築・更新・点検・調査)
(ストックマネジメント計画)

伊勢原第2号公共下水道
相模川流域関連公共下水道
東部処理区

A07-002 ポンプ場 (改築・更新)
(ストックマネジメント計画)

相模川流域下水道
伊勢原厚木幹線

伊勢原第3号公共下水道
単独公共下水道
中央・西部処理区

A07-003 伊勢原終末処理場 (改築・更新)
(ストックマネジメント計画)

A07-004 スtockマネジメント計画策定

A07-006 伊勢原終末処理場 (地震対策)

A07-005 ポンプ場 (地震対策)

凡	例
行政区域	—
下水道法による 事業計画区域 (整備予定区域)	—
市街地	■
既設幹線	—
伊勢原終末処理場	■
ポンプ場	Ⓟ

整備予定箇所の色分け	
新 設 (赤)	—
改 築 (青)	—